

硬質アルミ箔・PTP包装用グラビアインキ（トルエンタイプ）

## PPZ-Cインキ

PPZ-Cインキは、PPシート構成の医薬品包装(PTP包装)用途を目的として開発した、一液タイプの熱硬化型インキです。ブリスター充填機における錠剤の高速自動充填に対応できる、優れた皮膜物性を有します。

### ■ 特徴

- 環境問題に配慮し、焼却によっても塩素を発生しないノンハロゲン系樹脂素材を採用しています。
- 一液タイプの熱硬化型で設計しており、二液タイプに比べて印刷時の作業性が良好です。
- 十分な焼付けにより、300℃のシール温度でも印刷物の文字流れはなく、ブリスター充填機の高速充填に対応できます。
- 硬質アルミ箔およびPP素材に対して、高い接着性を有します。対PPシート用「ヒートシールワニス PPX-16」との併用により、低温シール性に優れ、高いシール強度のPTP包装が得られます。
- PPシート構成のシール検体を40℃×90%RHの条件下で1年間保存しても、シール強度の経時劣化はありません。

### ■ 適用原反

- 硬質アルミ箔

### ■ インキの使用方法

- 標準希釈溶剤：PPZ 2号溶剤
- 印刷粘度：14～18秒（ザーンカップ No.3, 25℃）をお勧めいたしますが、印刷条件（版や印刷速度）によって調整して下さい。
- 推奨焼付け条件：170℃×10秒（熱風乾燥炉）
- 推奨OPニス：PT OPニス シリーズ
- 推奨VC剤：ヒートシールワニス PPX-16

### ■ 注意事項

- 一液タイプの熱硬化型インキの為、製品保管の際に加温されるとインキの増粘やゲル化の原因となります。製品の加温を避ける様、危険物倉庫内の冷暗所にて保管してください。
- 印刷物の良好な高耐熱性や仕上がりを得るために、インキはオフラインでの印刷、焼付けをお願いします。インラインでの印刷、焼付けでは、硬化不良によるインキの文字流れ等の問題が懸念されます。
- 貴社焼付け条件にて、予めインキの熱硬化性をご確認ください。
- 赤外線異物検査機をご使用の際には、赤外線透過に対応した専用の色相をご使用ください。
- 諸物性は当社試験方法に基づくもので、アルミ箔の材質、印刷構成などの条件によって、貴社の必要条件に適合しないケースも考えられます。



- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。